

油吸着材エコツー ご使用方法と注意事項



『ご使用方法』

- エコツーにはネット入りとバラ製品があり、それぞれ油に接する面積が増えることで吸着性が向上しますので、よくホグしてからご使用ください。

※注意※ ホグす際「細かな繊維」が出ます。食材のすぐ近くは避け、グリストラップの真上で行ってください。

- 油を吸着した後のエコツーは、各自治体の指導に従って廃棄してください。

【ネット入りの使い方】



吸着素材が固まっている場合、ホグしてネット内に広げ、残渣カゴの下や第2槽などに投入する。この1個で約1kgの油を吸着します。(※ホグすときにネットが破れやすいのでご注意ください)

【バラの使い方】(※バラでの使用は、清掃時に撒いてご使用ください。長時間放置は推奨しません。)



吸着素材が固まったまま浮上油に入れると吸着効率が良くない。



ネット入りをご使用の場合は、ネットを破いて取り出し、細かくホグしながら浮上油にバラ撒く。



強くかき混ぜず、エコツーと油を優しく寄せ集めれば即座に油を吸着。あとはスクーパーで回収。

『油吸着状態の例』

- ①ネット入り編 周りから徐々に浮上油を吸着します。



投入直後



半分ほど吸着



ほぼ吸着限界

- ②バラ編 細かくホグして投入すれば、あっという間に油を吸着します。

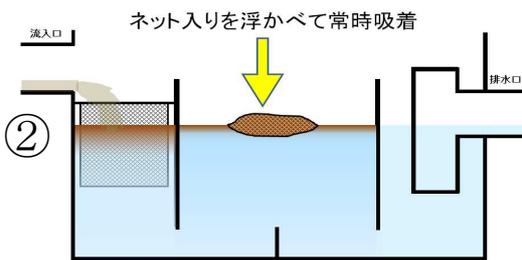
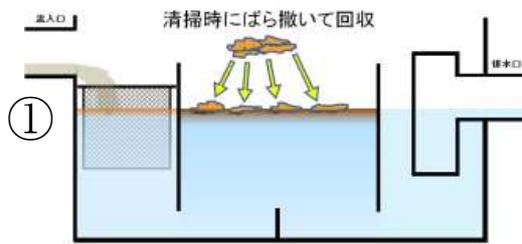


※ネット入り、バラともに全体が茶褐色に変色したら交換及び回収の目安です。

『使用例』

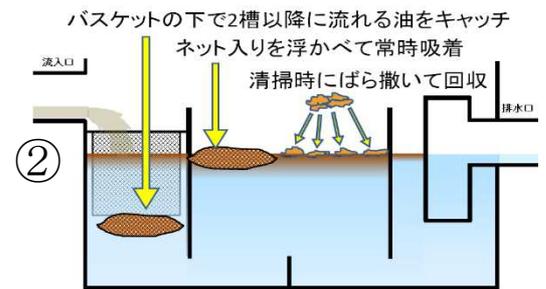
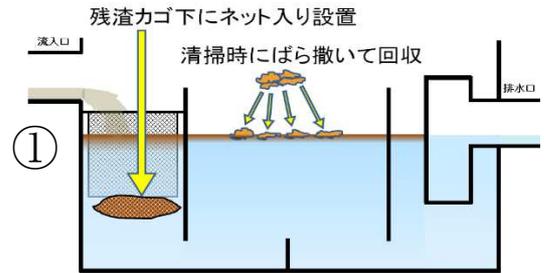
例1. 油が少ない場合

- ① 清掃時に残渣カゴと仕切板を取り外してバラを撒いて回収。
- ② ネット入りを2槽に浮かべて浮上油を常時吸着。



例2. 油が多い場合

- ① ネット入りを残渣カゴ下に入れて流れる油を減らし、清掃時に2, 3槽の浮上油をバラで回収する。
- ② 更に多い場合は、2槽にもネット入りを浮かべて常時吸着させて余剰分はばら撒いて回収。



サンプルおよび初回ご使用時の注意！

【重要】

エコツターの性能と効用を十分にご理解いただくために、よくお読みください。

エコツターをお使い頂くうえで一番重要なことは、グリストラップを「一度キレイな状態に清掃」してから使い始めることをお奨めします。

大量の油には、少量のエコツターは「焼け石に水」

右の写真のように濃い琥珀色になるくらい油が大量に溜まっている状態のまま、いきなりエコツターを投入しても、アツという間に油を吸って吸着限界に達して見えなくなってしまいます。

例えば、グリストラップの大きさが50x90cmで、2cmの厚みで油が溜まっている場合、およそ8kgの油が溜まっていることになり、すべてエコツターで取り除くためにはネット入りが8~9個必要となります。

エコツターは「水に浮く」が、「油には沈む!？」

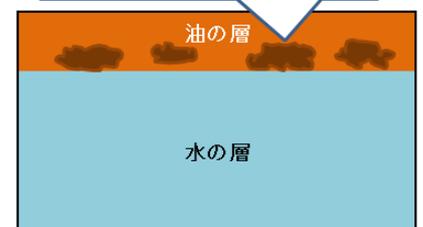
大量の油に少量のエコツターを投入しても、即座に油を吸収し「油の中に沈み」ます。この状態で「沈んだ」=「水を吸った」と誤解しないでください。油を吸着した後も、グリストラップの水の層に沈むことはありません。

液体の油以外は吸着しません

水面に綿状の浮上物（肉のアクや小麦粉系のもの）や固まったラード、ゴミ等がある場合は、すくいアミなどを使って取り除き、液体の油が見える状態になってからエコツターを入れてください。こうすることで効率的に油を吸着することができます。



油を吸ったエコツターは、「油」の中では沈むけど、「水」の中には沈まない。



「グリストラップ清掃は5分で終わる！」

グリストラップの油除去は、毎日が基本です。毎日であれば流入する油の量は極僅かです。

だからこそ、グリストラップを「一度キレイな状態に清掃」してから、サンプルやトライアル時にはエコツターを使って「毎日」グリストラップの清掃を実施してください。

グリストラップ清掃が「こんなに楽だったのか！」と実感して頂けます。